

第6章 言語の処理と理解

(1) 記憶



1

(1968 by アトキンソン・シフリン)

感覚器官から入った情報が、
と になるという考え方

必要なものを選択 転送



2

目や耳など感覚器官から入った情報の記憶
保持される

- (目からの記憶) 
- (耳からの記憶) 

3

目や耳などから入った情報の中で、必要だと判断されたもの
保持される

• 一部は、 になる

• 一度に保持できる情報は、 (=情報のかたまり)

「7」 =
by ジョージ・ミラー

4

と を同時に使う能力

例) 長文読解、掛け算「 38×4 」の暗算

習得中の外国語で会話するとき、一時的に思考力が低下すること
(ワーキングメモリーの処理効率の低下により起きる)

5

【ワーキングメモリーの容量を測るテスト】

①

文章読解に必要な容量を測る
短文を音読しつつ(=処理) 文中で示された単語を記憶 (=保持)

②

聞こえてくる文の内容を正誤判断しつつ、文末の単語を記憶
ブザー音が鳴ったら、今まで覚えた単語をすべて書き出す

6

～リーディングスパンテストの例～

私たちは、日ごろさまざまな問題に出会う。

妹が帰ってくる日、私と弟は家庭菜園のかぼちゃを全部収穫した。

：

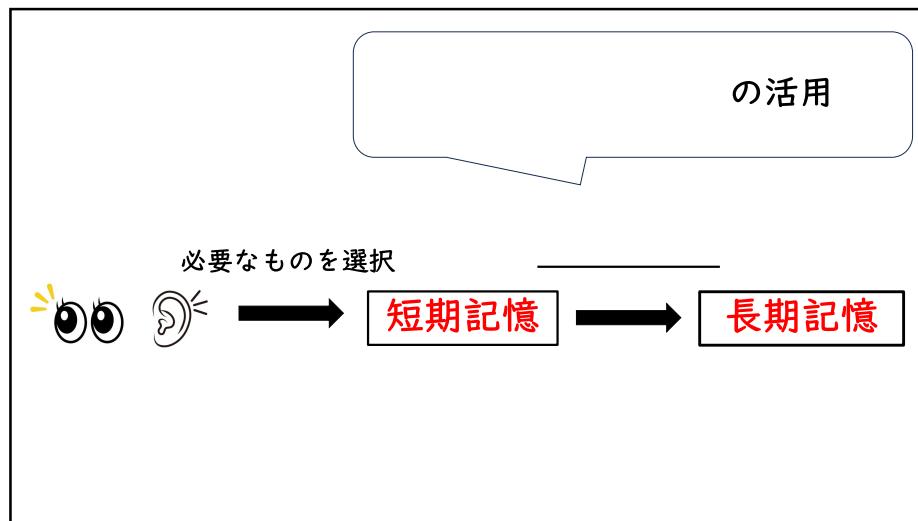
小澤 功一「リーディングスパンテストの得点化においてターゲット語再生に影響を与える要因の検討」より引用

7

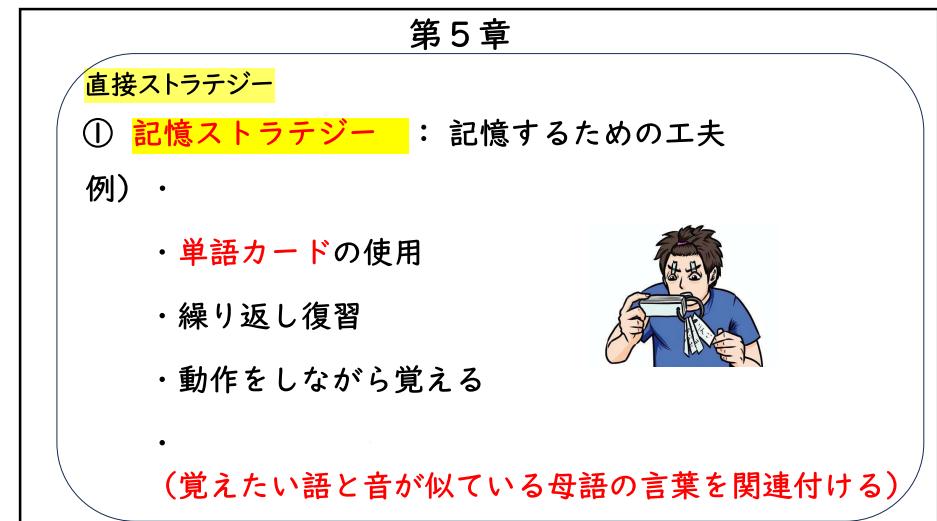
- ・短期記憶に留めるために（忘れないように）、
 言ったり書いたりすること
- ・繰り返しをやめると忘れてしまうため、



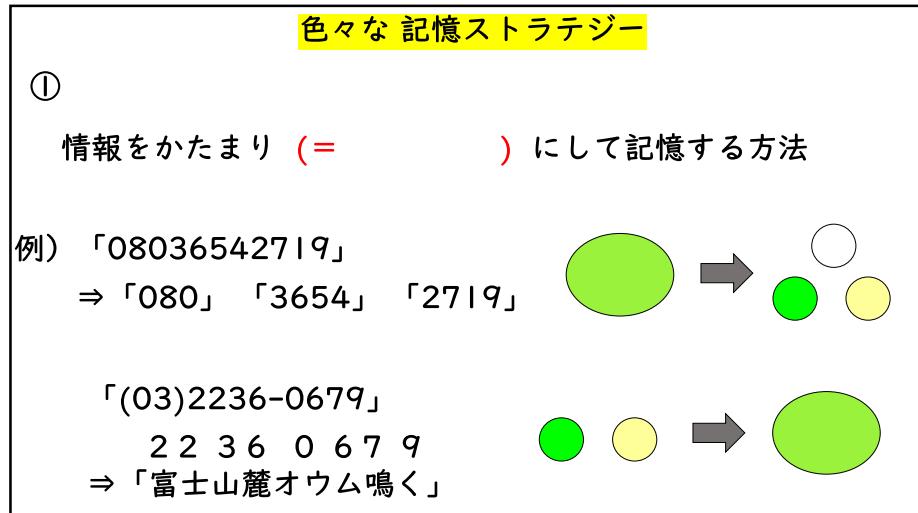
8



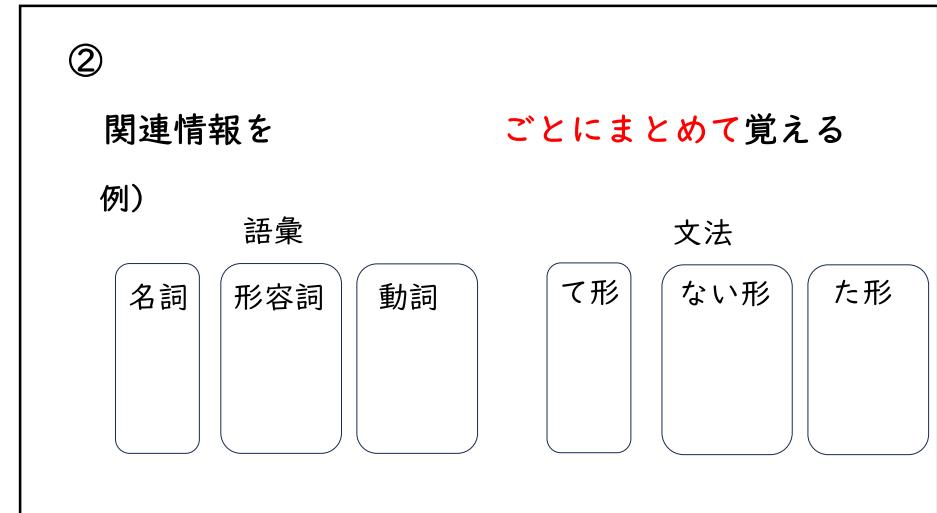
9



10



11



12

③

他のことばやイメージと関連付けたり、ストーリーを作って覚える

- 例) ・語呂合わせ
- ・漢字を成り立ちや部首と関連付ける
- ・語彙を漢字の意味と関連付ける

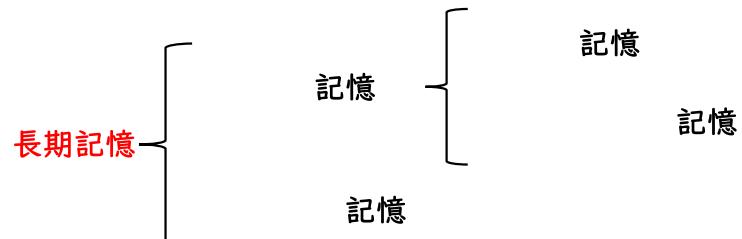
④

自分で問題を作成して解く

13

- ・

・「忘却」は記憶が消え去ったわけではなく、検索ができないこと



14

<長期記憶>

手続き的記憶

例) 自転車の乗り方、泳ぎ方、楽器の演奏の仕方など



<長期記憶>

宣言的記憶：

- ・意味記憶：物や人の名前などの
、
、学習したことに関する記憶
- ・エピソード記憶：
に関する記憶



15

16

<長期記憶>

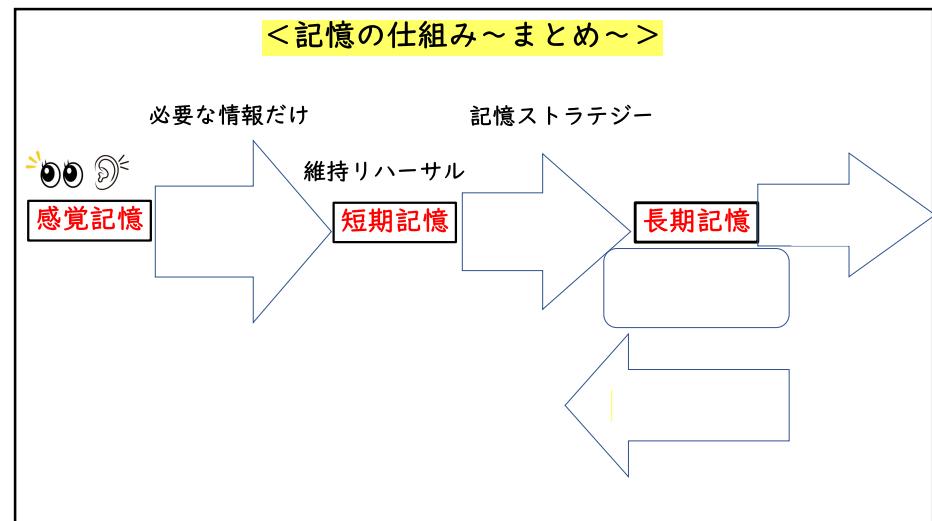
メンタル・レキシコン（心的辞書）

⇒

- として脳内に保持されている
- ・脳内の語の項目は、
- ・語と語は、



17



20

<授業作りのヒント>

- : 事前に見たり聞いたりしたことと関連のあることは記憶に残りやすい
- : 最後に提示されたものは記憶に残りやすい
- : 最初に提示されたものは記憶に残りやすい

22



23

経験や記憶によりすでに持っている、

・

テキストの内容に関する、経験に基づく知識や**背景知識**のまとめ

・

文章構造に関する知識のまとめ

これによって、文章の展開を予測しながら読むことができる

24

スキーマの一連の流れのこと

例) 「レストランに行く」



「風変わりなレストラン」 (byラッセルら)

ジョンは風変わりなレストランへ行った。

彼は満足して、ウェイターにチップをはずんだ。

彼は50ドル払った。

25

<情報処理>

: 内容につき、

例) 速読

- ・ = 大意つまりおおまかな内容をつかむ
- ・ = 欲しい情報だけをつかむ

26

<情報処理>

文字・音声 → 単語 → 文 → 段落 というように、

例) 精読

トップダウン処理 + ボトムアップ処理

27

学習内容に関連する知識を活性化させるために、事前に行う活動

例) 作文を書く前にテーマに沿った会話をする



by Amazon

28

<推論>

- ・はっきり述べられていない部分を文脈や知識で補う
 - ・話の内容を **のに必要**
 - ・ **に働いている**

29

<推論>

橋渡し推論の例

「明日早いから、もう寝るね。」

→明日早く起きなければならんんだな

「先週、本屋に行った。そこには、あらゆる種類の本が並んでいた。」

→「そこ」=「先週行った本屋」

30

<推論>

- ・話の内容から、その人の性格やその時の状況などを具体的に想像し、理解を深める
 - ・話の内容を正しく理解するのに、
 - ・に働く

31

<推論>

精緻化推論の例

例) A 「あの先生、いつも元気だよね。」

B 「毎日、ジョギングしているらしいよ。」

→A ストイックな人なんだろうな、

早起きしているんだろうな



32

平成28年度

試験I - 28

問題9 次の文章を読み、下の問い合わせ（問1～5）に答えよ。

私たちは文章を読むとき、Aワーキングメモリ上でトップダウン処理とボトムアップ処理を行なながら文章を理解する。文章にない情報は、B推論により補われる。また、文章の理解度は、C読みの過程で行われるモニタリングによって異なる。日本語の授業では、このような過程を理解した指導が期待される。

中上級の授業では学習者の持つDスキーマを利用したトップダウン的な読みの活動が増え、一方で、学習者のレベルや読みの目的によってはボトムアップ的な読みも行わせるといった、柔軟な指導が望まれる。

34

平成28年度 試験I 問題9

問2 文章中の下線部B「推論」の一種である「橋渡し推論」の例として最も適当なものを、

次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 「花瓶を落としたので弁償することになった」という文を読んで、花瓶は割れたと理解する。
- 2 「獣の通る道しかない山奥にレストランが一軒ありました」という文を読んで、レストランが異様な場所にあると理解する。
- 3 「二人は婚姻届にサインをした」という結末の文を読んで、二人の結婚した姿を想像する。
- 4 「狐はその美しい姫に恋をし、透き通った肌の金髪の王子に化けました」という文を読んで、その王子の顔や髪型、服装、声を想像する。

令和4年度 試験I

問題9 次の文章を読み、下の問い合わせ（問1～5）に答えよ。

文章や談話を理解するために、脳内では複雑な処理が行われている。例えば、語彙処理や意味処理などが行われ、既存の知識が統合される。その過程においては、予測やA推論が重要な役割を果たしている。また、これらの処理には認知資源が関わっている。認知資源の量は、リーディングスパンテストやリスニングスパンテストなどで測ることができる。

音声理解の過程では、知覚の段階で音韻表象が形成される。一般的に、Eカクテルパーティ効果がよく知られ、私たちは日常的に体験している。

35

37

令和4年度 試験 I 問題9

問2 文章中の下線部B「推論」の一種である「橋渡し推論」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 「手の引っかき傷が痛む。猫は走って逃げていった。」という文から、猫に手を引っかかれたと推論する。
- 2 「その日の朝は駅まで歩いた。20分ほどで着いた。」という文から、天気のいい日だと推論する。
- 3 「バッターが打ち上げた。打球はこちらに飛んできた。」という文から、その後の展開を推論する。
- 4 「背後から女性に声をかけられた。知らない女性だった。」という文から、女性が何と言ったか推論する。